

## 防災こそ「自分事」!! そして、「自分事」化は地域再生のカギ

### 「防災・救助 住民協議会」の提案

1. 無作為に選ばれた住民を中心にして防災のための協議会をつくる。
2. 住民である委員が地域での過去の被災経験や多様な知恵を持ち寄って議論し、地域の防災・救助についての「見取り図」をまとめる。
3. 自治体はとりまとめられた「見取り図」を地区防災計画等の作成など、具体化していく。

『「防災4.0」未来構想プロジェクト』での議論の様子



今さらながらですが、災害の被害者は地域の住民です。だから私たちは防災の最大の当事者です。ところが、堤防やダムなどの防災ハード事業、警報や避難誘導など行政が行うことが多いため、私たちにとって防災が「他人事」すなわち受け身になっているのが実情です。

しかし、それではいざという時、役に立たないことが多いのです。温暖化などに伴い災害の激甚化が予想される中で、国民一人一人がリスクにどう向き合うべきかが政府の審議会『「防災4.0」未来構想プロジェクト』で議論されています。委員を務める加藤は「防災・救助 住民協議会」を提案しています。これは構想日本が福岡県大刀洗町などで実施している「住民協議会」の手法の応用です。

こうやって住民自身が防災計画の作成などに関わることで、防災や被災の際の救助全体が住民にとって「自分事」となります。

それはさらに、住民間のコミュニケーションや協力を活発にし、地域の活性化にもつながるのです。これこそが本当の国土強靱化だと私たちは考えています。



福岡県大刀洗町「住民協議会」の様子

### 3自治体から3人のスタッフが来ました！

4月から構想日本に3人の新しいスタッフが加わりました。

名古屋市、太田市、淡路市からの研修派遣です。

国の政策、制度の問題を調べ、改革案を作り、その実行現場である自治体行政にも関わります。構想日本の仕事を通じて、国と自治体というタテと自治体間のヨコ、双方に関わることで多面的な知識と経験を身につけ、出身自治体でも役立ててもらいます。



## 「ふるさと住民票」鳥取県日野町で始動!



構想日本は、昨年8月に8つの自治体と『ふるさと住民票』の提案」を記者発表し、その第一号として鳥取県日野町が「ふるさと住民票」のカード交付式を2月に行いました。

このカードは、全国共通のロゴ及び全体デザインと各自治体独自のデザインの組み合わせによってできています。日野町のカードには、シンボルであるオシドリが描かれています。

日野町は「ふるさと住民票」の登録者に対して、「広報ひの」などの送付、町の計画や政策へのパブリックコメントへの参加、公共施設の住民料金での利用、伝統行事、イベントなど紹介・案内などを行います。

人口が減少する中で、自治体が住民を「とりあう」のではなく、現代の多様な生き方に対応した自治体と住民の「複線的な関係」の構築を目指します。

## 最近のJフォーラムのご報告



### 第221回 「紛争、テロ、難民、その本質を考える。そして、私たちが、日本、がするべきこと。出来ることを考える。」

2月29日(月)  
**ゲスト** モハメド・オマル・アブディン(東京外国語大学 特任助教、スーダン出身)  
 瀬谷 ルミ子(NPO法人日本紛争予防センター 理事長)  
 ナジブ・エルカシュ(ジャーナリスト、シリア出身)  
**コーディネーター** 加藤 秀樹(構想日本代表)

### 第222回 今こそ文系学部の強化を

3月23日(水)  
**ゲスト** 芳賀 徹(静岡県立美術館 館長、元京都造形芸術大学 学長)  
 益川 敏英(京都大学 名誉教授、京都産業大学益川塾 塾頭、  
 ノーベル物理学賞受賞者)  
**コーディネーター** 加藤 秀樹(構想日本代表)

### 第220回 産業革命から「1.5℃」の気温上昇! 可能か。できなければどうなる。

1月28日(木)  
**ゲスト** 岩谷 忠幸(気象キャスターネットワーク)  
 亀山 康子(国立研究開発法人 国立環境研究所)  
 水口 哲(博報堂)  
**コーディネーター** 加藤 秀樹(構想日本代表)

## 構想日本の動き

2016.01~ 2016.03

新聞・テレビ等メディア掲載:31件 自治体(職員、議員)との動き:21件 大学・学生との動き:2件 その他:6件  
 主なもの

### <新聞・テレビ等メディア掲載>

- 1月28日 日本経済新聞  
 十字路 政策への関心 蓄積する工夫を
- 2月23日 読売新聞  
 「ふるさと住民票」初交付 日野町、出身者2人に
- 2月22日 朝日新聞(茨城県)  
 行方の総合戦略報告 市民100人委、河野行革相招き
- 3月8日 Yahoo!ニュース  
 防災を「自分事」に 構想日本 代表 加藤秀樹

### <政府・自治体(職員、議員)との動き>

- 1月12日 群馬県 平成27年度群馬県市町村トップセミナー 講演  
 (代表 加藤 秀樹)
- 1月30日、2月13日、3月13日 高島市 市民ワークショップ  
 (総括ディレクター 伊藤 伸、政策スタッフ 原田 将大)
- 2月23日 三重県 経営戦略会議 (代表 加藤 秀樹)
- 3月1日、16日 「防災4.0」未来構想プロジェクト(第3、4回会合)  
 (代表 加藤 秀樹)

### <大学・学生との動き>

- 2015年10月~隔週月曜日 京都大学経済学部 「公共経営論2」講義  
 (代表 加藤 秀樹)
- 2015年9月~毎週木曜日 法政大学 「NPO論II」講義  
 (総括ディレクター 伊藤 伸)

## 会員募集

構想日本は会員からの会費だけで運営しています。日本をもっと素敵に国にしたいと思っ

**TEL 03-5275-5607**  
[www.kosonippon.org/info](http://www.kosonippon.org/info)

及び同封の葉書・振込用紙をご覧ください。振込用紙は現在会員である方にも送付しています。